サーバ疎通確認方法: EKH2Aの場合

EKH2Aでは付属するリモコンが機器運転情報を取得し、当社クラウドサーバに電送します。 自家消費プラン事業では運転データを取得し活用するために当社の遠隔監視サービス 「TABUCHI Cloud」への加入が必須となります。

<u>サーバとの疎通確認方法</u>

- ①「TABUCHI Cloud」にログインしていただき、メイン画面内に電力量等の運転情報が 表示されていること・・・・・図1
- ② 施設情報の表示において申請されたリモコンの製造番号が表示されること・・・・・・図2
 注: EKH2Aのリモコン型番はZREM-35ENB03です。

上記が正しく表示されていればサーバとの疎通は完了しています。



図1: Tabuchi cloudメイン画面

電所情報						閉じる
発電所名称: 発電所住所:	ECO house EIBS (2.8	kW)				
お申込みサービス:						
常通日:	1275874044 1275	2045./r 76	nech (-t		20 object	
無し	22局監視リービス 無し	20年級	PCS917 単相	田朝町	温度計 無し	
電力会社名:			認定設備容量:	2.8 kW		
#u⊡ datao.						
表回1月報: リモコン局番	1	2	3	4		5
リモコン型番	ZREM-35ENB02					
リモコン製造番号	Q5C00678					
通信GWボックス型番						

💯 ダイヤゼブラ電機株式会社

サーバ疎通確認方法: EKH3A~EKH3Kの場合

EKH3A~EKH3Kではパワーコンディショナ内部に搭載している通信モジュールが機器運転情報を取得し、当社クラウドサーバに電送します。

自家消費プラン事業では運転データを取得し活用するためにパワーコンディショナをインター ネット接続してください。(接続方法は施工会社様にご確認ください)

サーバとの疎通確認方法A(Service Toolを使用する方法:施工会社向け)

データの疎通確認は施工会社がスマートフォンを使って初期設定する際に確認できます。 スマートフォンでService Tool画面(図3)を確認の上、スクリーンショット提出してください。

- Service Toolの運転状態表示画面で、
 <u>太陽電池のイラスト部分</u>をタップする。(右図赤枠部)
- Service Tool
 Fill

 連転状態:
 運転手動停止中

 運転七ード:
 蓄電

 用田田町
 運産保備

 発電 0.0 kw
 日本

 現空 2 kW
 国本 2 kw
- PCS情報の画面が表示されたら、通信テストを タップする。



③ 通信テストの実行結果が「OK」になっていればサーバとの疎通は完了しています。 実行結果とPCS機種名・製造番号が表示されている画面のスクリーンショットを提出して ください。



サーバ疎通確認方法: EKH3A~EKH3Kの場合

<u>サーバとの疎通確認方法B(システムモニタを使用する方法:需要家向け)</u>

データの疎通確認は需要家用のスマートフォンアプリ「システムモニタ」でも行うことができます。 以下の手順で確認の上、スマートフォン画面のスクリーンショット(図4,5)を提出してください。

※ 疎通確認方法Aで疎通確認される場合は、こちらの作業は不要です。

① システムモニタ画面右上のメニューから「設定」を開く。



② 『機器情報』を選択すると、パワコン機器名と製造番号が表示(図4)されます。



図4:機器情報画面(提出対象)

サーバ疎通確認方法: EKH3A~EKH3Kの場合

サーバとの疎通確認方法B(システムモニタを使用する方法:需要家向け) つづき

③ ネットワーク設定 → 通信テストの順に選択し、通信テストを行います。 サーバ疎通ができている場合は、実行結果のボックスに「OK」と表示されます。(図5)

